

平成28年2月10日

杉並区議会議長  
はなし 俊郎 様

災害対策特別委員会  
委員長 金子 けんたろう

### 災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

- (1) 平成27年11月29日 委員の派遣
- (2) 平成27年12月 2日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 11月29日

##### 委員の派遣

平成27年度杉並区総合震災訓練を視察するため、以下の場所に委員を派遣した。

立正佼成会法輪閣駐車場及びその周辺（杉並区和田二丁目8番ほか）

以上のとおり、委員の派遣を行いました。

##### (2) 12月2日

##### ① ICTを活用した災害情報の収集と発信について

大規模災害の発生時、迅速にソーシャル・ネットワーキング・サービスなどから情報を取得、区民に対し、災害対策本部で整理した情報を防災地図アプリ「すぎナビ」で配信し、情報共有などを図っていくとのこと。

アプリの内容として平常時は各種地図情報を見ることができたり、災害時には公開した危険個所を回避した安全な避難経路の案内などの機能がある。災害情報は、すぎナビと連携可能なサービス提供が既に行われているものを利用し、収集するとのこと。

11月の総合震災訓練でデモンストレーションを行い、職員向け説明会は12月より順次開催とのこと。

② 平成27年度杉並区総合震災訓練等の実施結果について

震災救援所訓練は12月1日未現在、65校中55校で実施。未実施校のうち7校は12月中に、残りは28年の1月から3月の間に実施とのこと。

総合震災訓練では、1,450名が参加。そのうち、区民としての参加が741名、関係機関の職員等が414名であるとのこと。

震災救援所訓練では立ち上げ訓練や避難訓練などを行い、関係機関との合同訓練では、救出救助訓練や医療救護訓練などを行った。そのほか、広報・体験コーナーを実施したとのこと。

③ 災害時等における民間団体との協力協定の締結について

災害時等の対策強化のため、民間団体との協定を新たに2件、平成27年11月12日付で締結したとのこと。

ア 災害時における公共土木施設の被災状況把握に関する協定について

被災した公共土木施設の復旧及び国に対する災害復旧に係る費用の申請を迅速に行うため、都市再生調査事業協同組合と災害時における公共土木施設の被災状況把握に関する協定を締結した。被災した河川や道路などの、陥没や隆起などの測量調査及び写真撮影を依頼する内容とのこと。

イ 除雪及び路面凍結防止業務に関する協定について

除雪や路面凍結防止業務については、これまでも区内の土木建設事業者に協力を依頼し実施してきた。今回新たに杉並土木災害防止協力会と除雪及び路面凍結防止業務に関する協定を結ぶことで、さらなる連携の強化と、安定的な運営を図っていくとのこと。

④ 道路等の除雪について

積雪が10センチ以上で実施するという基準を設けているが、これに満たない場合でも、必要があると判断する場合には除雪作業を行っていく。対象路線をあらかじめ指定して、危険箇所から順次優先的に行っていくとのこと。

対象路線は総延長で約39キロメートル、123路線を指定。この中で通学路や駅周辺の道路等、合計263カ所を危険箇所として選定している。作業については、杉並土木事務所等の職員と、協定に基づいて、杉並土木災害防止協力会の業者とで協力して行っていくとのこと。

以上のとおり、4件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上